

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターメイキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 教員、臨床心理士、公認心理師、療育経験の豊富な児童指導員と多職種の職員で療育を行っている。	・ 職員それぞれの専門性を生かした療育を提供している	・ 今後も多職種の職員が色々な視点からの意見を出し合い、療育が提供できるようにする
2	・ 活動スペースが十分に確保されており、設備も充実していること ・ それにより、大きく身体を使った遊び、揺れ具などの遊具を使った遊びなど、提供できる遊びの幅が広いこと	・ お子さんの発達課題に応じた、体を使ったあそび、手先を使ったあそび、空間認知を高める遊びなど、多様な活動を提供できること	・ 法人内での事例検討会を含め、それぞれの事業所での実践報告等、療育の質を高めるための情報共有をすること
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 保護者同士・きょうだい児同士の交流の場の提供	・ 利用日が同じ保護者同士の交流はあるが、限定されている	・ 法人全体の行事への参加を呼びかけ、その中で保護者やきょうだい児が交流を持てる時間や内容を考えていく
2	・ 利用者への情報提供不足 ・ 防災訓練等の実施や、マニュアル等の周知がすべての利用者に届いていない	・ 掲示版での報告だけでは見ていない保護者も多い	・ ホームページや連絡アプリを活用して、確実に情報提供をしていく ・ 参観日などの時に、保護者も一緒に訓練を行う機会を設ける
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども療育センターメイキッズ
------	----------------

公表日 2026年3月27日

利用児童数 5名 (2026年3月16日現在) 回収数 3

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	0	0	0		・今後もダイナミックな身体の動きができるように色々な遊具を設定し子どもたちが充分に楽しめるようにする
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	0		・清潔で心地よい空間になるように、掃除や換気に気をつけていく
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	0		・子どもたちが楽しんで参加できるように、活動内容を考えていく
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	2		・地域のイベント情報等は、掲示板に案内している ・事業所主催のイベントなども考えていきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	0		・実施に向けて検討していく
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	1		・保護者同士やきょうだい児同士の交流の場を設けていけるようにしていく
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		・お子さんや家族の方からの相談があった時には随時時間と場所を設けるようにしていく
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		・ホームページや掲示板を利用して保護者への周知を徹底する
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	0		・各マニュアルは、保護者が見やすい場所に置く
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	0		・訓練を行った際の結果報告書の掲示を保護者が見やすいところにし、送迎時に声をかけて確認してもらう
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	3	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3	0	0	0		・ケガへの対応を速やかに行い、保護者の方に状況説明をしていく
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0		・今後も子どもたちが安心して楽しめるよう努める
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども療育センターメイキッズ				公表日	2026年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		・清潔で心地よい空間になるように、掃除や換気に気をつけていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0	・体調不良等が起きた時にも対応できる部屋がある		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	・業務後に話し合う機会を持っている	・話し合われた内容を、全職員が共有して改善に向けて考えていけるようにしたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・日々の療育前後の話し合いの時に気づいたことを出し合っている	・その時に、日々の療育についての話し合いだけでなく、職員の業務全体に対する意見も聞いていくようにする	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		・第三者評価を実施していない。今後の検討課題	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・法人内研修の開催、外部の研修については職員全員に周知		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0	・会議を通じて様々なスタッフの視点でアセスメントをまとめる機会がある		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	・会議を通じて様々なスタッフの視点でアセスメントをまとめる機会がある		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		・園訪問なども行っていけるようにしていきたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0	・職員全員で、子どもたちが楽しめる活動について話し合い、見直しを行っている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	0	・利用者の状況に合わせ、また保護者からの希望も踏まえ、個別と集団活動を組み合わせている		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1	・クリニックに通院している子どもの情報連携ができています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	2		・必要な時には情報共有できる場を設け、支援内容について話し合っ行ってきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	2		・みどりファイルを活用して、情報提供を行っていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	0		・地域交流については、法人全体で検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	・法人として「子育て応援セミナー」を実施している	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	・フィードバック時に日々の様子を聞いている	・相談があった時には、時間と場所を確保してしっかりと聞いていくようにする
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	・法人全体では、就学を考える座談会や保護者向けの研修会を開催している	・事業所単位での保護者の交流会については今後検討する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0		・法人全体で検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0	・定期的に訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1	・食物アレルギーのあるお子さんには、年度初めに保護者から情報を得ている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	・「身体拘束」に関する研修は、毎年全職員に行っており、委員会では、必要な身体拘束について話し合っている	